

あさがお通信

第十二号

大津市八年内
行N人法
人三月一日
津三丁目二
田あさ二が二
昭四郎お四



虐待問題研修会を開催しました

2月25～27日の3日間にわたり、平成19年度滋賀県高齢者虐待問題研修会を開催しました。この研修会は市町担当課や地域包括支援センターの職員を対象に、虐待ケースの介入時に必要とされる知識や技能等の修得を目的としたもので、今回は立命館大学大学院・応用人間科学研究科教授、団士郎先生を講師にお招きし、3日間連続でワークショップを交えた「講義をいただきました。

団先生には虐待問題を考えるにあたって避けて通れない「家族」について『家族支援を学ぶ』というテーマで、ジェノグラム（三世代以上の人間関係を盛り込んだ関係図）の作成の基本から、家族の構造、家族の問題解決に必要な考え方

方（システム論）を教えていただきました。

講義後のアンケートでは、「虐待に限らず、家族支援というものは、あらゆる相談場面で不可欠なものだと感じた」「参加者の研修で気づきを与えてもらつたなどの意見を多數頂戴し、大変好評を得ました。

ワークショップを通して実際に体験する」とで、新たな視点を持つことができ、適切な家族理解について考えを深める良い機会になりました。



『新年度を迎えるにあたって』

「会うは別れの始まりと言いまして…」とあちらこちらから司会の声が聞こえる時期になりました。あさがおも開設以来4年目に入り、後見活動の中では、昨年度は31人の出会いと7人の別れがありました。現在、後見等は70件と大きく増加いたしました。そこで多くの方達とその多様性に対応するため、相談員を1名増員し4名体制と致しました。

今年度は、今まで3年間に培われたノウハウの更なる活用と、明日の人材育成事業第2弾に取りかかるとともに、脆弱な財政基盤を強化出来る方策の検討を進めたいと思います。

ところで、事務所は見かけ何も変わりませんが、新しく男性が加わった相談員4人グループと事務グループが機能的に仕事を出来るよう配置換えを行うとともに、奥の応接室を多目的のミーティングルームへと衣替えしました。

私たちの仕事は高齢化がどんどん進行するなか、大変厳しい現実を目の当たりにします。4月になりますと、桜を代表とした木々の花や、チューリップやすみれ等の草花が咲き誇り、何故かしら気持ちがワクワクして来ます。厳しい現実とこの良き環境をうまくバランスを取りながら、皆で気持ち良く仕事をしています。みなさん、一度事務所にお立ち寄り下さいませんか。職員一同お待ち致しております。

ご寄付ありがとうございました

昨年9月発行の前々号にて、ご寄付を頂いた方にお礼を申し上げました。その後も引き続きご寄付頂いた方がおられますので、ここにお名前を挙げさせていただき、お礼を申し上げたいと思います。

大國美智子様
中島美代子様
山田容様
株式会社ピアライフ様

今後とも、職員一同精一杯努力して参ります。どうぞあさがおをよろしくお願ひ申し上げます。

後見活動日記

「夫ちゃん（仮名）が数年間通った病院を離れ、施設に移りたのは昨年の秋でした。病院の先生や看護師さんたぬに見送られ、じ兄弟と後見人が車に乗つて付き添いました。三上山と霧島朝日駅の丘陵を上り、紅葉ありますからのお通夜を横切つて、夫ちゃんは新たな住處にたどり着きました。

黙々と翻訳した上で入所だった。
しかし夫からの翻訳は中止され、—
じつ大和が机に向かって書くが、誰かが
語しかけたびやかに聞かせ、夫もまた
不思議な興味をもつていた。

「おおお！」とねむかは鏡面の壁面で叫んでいた。『おおお！』とねむかは鏡面の壁面で叫んでいた。

「えいわれど一夫もぞじつて廻」ふや
ちて點撃を作れぬにゆう。」び 曲直で制へ
あした。「本人のペーペを腰もだせ頗る
せひ、世かむぢやひんな風かわがこうわいし
わざわざいふ」叫はせに詰め、詔導したのうご
か。」がえりゆく。その結果、ふとがちより一
夫ぞんを足りて、一夫ぞんじゆうて一曲を唱
よこ點撃作業共に並んでゐる。想かな記録作業
ひとりしてVJの仕事もつた。それに次の4
つの標題から「田」回転が、曲直で記

わむか数ヶ田の物語でした。一夫さんは職場でやる兄弟、後見人に見送られ、旅館のようないすいじひとがおもて話を口にした。穂やかな話題でした。

左近の一人夫さんでした。しかし、じつや中の匂いの兄弟が3人おられました。2年前までは、兄弟が後見人をされていました。しかし、穂やさんが「懐疑」となり、後見人をあたがねで引取れたりするなどありました。それで、この中川の兄弟は、一夫さんを詫問しておられた。

①本人の様子や周囲の環境(人物等)と
援助内容
の実際の関わり(どんなきっかけをしたか、何

「一人じゃなかつたですよ、一夫さん。ご兄弟や施設の職員さんも、みんなあなたのお家族でしたよ。」

の家庭の囲みで（どんな誰か）をしたが、同じくのように行なったか）

編集後記

帳面

4年目の春を迎えたあさがおにて
4人の相談員として、4月1日(木)

た」と

前編

書籍の紹介



ヒトクセある心理臨床家の
作り方
わが研修通路日誌
団士郎 著

その結果、次第に一夫さんの語彙が豊かになって、自分が表現したかったことを正確で表現できるようになります。なぜ、最初の壁は「抱きしめ—」「抱き合ひ—」「抱きだらう—」「抱き取る—」「抱き取られ—」だったのでしょうか。「のん」「ねこ」「この」と「抱く」を「う」「」と結び、なんど「おこ

慣れない電車での通勤ですが、車窓を眺め、好きな小説を読む樂一みながり通つて、しません。

今月の一句

あれそれが
二人にふえて
四月馬

* * * お見募集しています * * *

私たちの活動に賛同・支援していただける個人・法人の会員を募集しています。

個人 入会金 1,000円 年会費 5,000円
団体 入会金 10,000円 年会費 50,000円

お問い合わせは 077-522-0799 まで。